

2024年3月15日

京都環境保全公社と日産自動車、電気自動車を活用し脱炭素社会実現に向け共創

株式会社京都環境保全公社と、日産自動車株式会社、および京都日産自動車株式会社の3者は、15日、電気自動車(EV)を活用し脱炭素社会実現と災害対策強化に向けた連携協定を締結しました。

【協定の経緯・背景】

京都環境保全公社は、SDGs 基本方針に「脱炭素社会及び循環型社会の実現に寄与すること」と定めており、産業廃棄物の適正処理、資源循環率の向上及び最終処分(埋立)量の削減と温室効果ガスの削減に取り組んでいます。その一環としてEVの「日産リーフ」を社用車として導入しており、廃棄物エネルギーを最大限に利活用した環境対策や防災対策を推進し、持続可能なまちづくりに努めています。

日産自動車は、これまで培ってきたEVに関するノウハウやネットワークを活かし、脱炭素、災害対策、エネルギーマネジメント、観光、地方での交通課題などの地域課題解決により、社会変革をしていく日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」を推進しています。SDGsの達成やEVの普及によるゼロ・エミッション社会の実現を通じ、人とクルマと自然が共生し、住む人がワクワクするまちづくりによる地域社会の発展に貢献するため、全国の自治体・企業の皆さまと共に活動しています。

この日産自動車が進める「ブルー・スイッチ」と京都環境保全公社が目指す脱炭素社会実現に向けた取り組みに双方が賛同し、本協定の締結を行う運びとなりました。



ブルー・スイッチによるSDGsへの貢献

【協定の概要と主な連携内容】

協定項目	具体的取組例
<p>(1) EV の普及促進</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・社用車の EV 化及び従業員の EV 導入促進 ・従業員や来訪者へ京都環境保全公社が所有する充電設備の開放の検討
<p>(2) EV を活用した地域活性化</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・「走る蓄電池」としての EV 活用や PR、環境教育での協力・連携
<p>(3) EV を活用した災害対策強化</p>  	<ul style="list-style-type: none"> ・災害による停電時に非常用電源として日産の販売会社に配備しているEVを貸与 ・京都環境保全公社にて発電した電力※を EV に充電し、京都環境保全公社施設や地域住民へ提供
<p>(4) その他、協議し必要と認める事項</p>	

京都環境保全公社と日産自動車は、本協定締結を機に、持続可能なまちづくりを推進し、美しい自然環境を未来に残すため、EV の普及を通じた脱炭素社会実現や SDGs 達成に向けて、連携を強化してまいります。

※京都環境保全公社施設にて産業廃棄物の焼却時に発生する蒸気で発電した電力

以上

First Contact Nissan Technology: <https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology.html>

日本電動化アクション「ブルー・スイッチ」: <https://www3.nissan.co.jp/first-contact-technology/blue-switch.html>